

私の幸せは愛と映画でできている。

E.T. が怖いと泣いて
「映画館を途中退出したのよ」と
ママから今でも聞かされる。

「おかえりなさい」と
パパと人差し指をくっつけて
E.T. ごっこをやっていた。

E.T. に会えると信じて
トレッキングを趣味にしたら
夫という名のE.T. に遭遇した。

息子は自転車のカゴにティディベアを載せて
空に舞い上がれと毎日遊んでいる。

出会った映画といつまでも。

映画を観よう。
サヤマ de シネマ

サヤマ de vol.3 シネマ

2019年
9月21日(土)・22日(日)
狭山市市民会館 小ホール

入場無料(事前申込制) ※詳しくは中面をご覧ください。

【主催】西武文理大学サヤシネ実行委員会
【共催】狭山市
【後援】公益財団法人ユニジャパン(第32回東京国際映画祭)
【協力】芥川製菓株式会社/キッコマンソイフーズ株式会社/
小岩井乳業株式会社 東京工場/株式会社メモルス/
株式会社ロッテ 狭山工場 (五十音順)
(高大連携協定校) 日本文学学園 文華女子高等学校/西武学園文理高等学校

いつだって映画が私に勇気をくれた。

心の中で叫んでいても
いつまでたっても
振り向いてはくれない。

あの主人公から勇気をもらい
心のカチンコ鳴らして
声に出してみる。

「ずっとあなたが好きでした」

この恋のヒロインは私だ。

映画を観よう。
サヤマ de シネマ

サヤマ de vol.3 シネマ

2019年
9月21日(土)・22日(日)
狭山市市民会館 小ホール

入場無料(事前申込制) ※詳しくは中面をご覧ください。

【主催】西武文理大学サヤシネ実行委員会
【共催】狭山市
【後援】公益財団法人ユニジャパン(第32回東京国際映画祭)
【協力】芥川製菓株式会社/キッコマンソイフーズ株式会社/
小岩井乳業株式会社 東京工場/株式会社メモルス/
株式会社ロッテ 狭山工場 (五十音順)
(高大連携協定校) 日本文学学園 文華女子高等学校/西武学園文理高等学校

サヤマdeシネマ Vol.3

今年も狭山にサヤマdeシネマの季節がやって参りました！
 今回も昨年に引き続き、学生の想いがぎゅっと詰まった選りすぐりの4作品を2日間かけて皆さまにお届けします！
 令和最初の秋、素晴らしい映画と共に皆様に素敵なひとときを過ごしていただけるよう、サヤマdeシネマは映画と人と狭山市が繋がっていく未来を創造し続けます！

皆さん。私達と一緒に「Pensées」の旅に出かけませんか？

熊谷守一という稀代の芸術家の日常に初めは驚かされましたが、彼の言葉に生きることを意味を考へ気付けられる映画でした。映像はモリという芸術家の生き様が丁寧に、そしてユーモラスに描写されています。自らの内なる世界と外界との対話によって作品が生まれ出されるとすれば、彼を支える妻や彼の日常全てが、生きるという創作活動なのだと感じました。観終わったあとにも、ひとつひとつのシーンが語りかけてくるような素晴らしい映画です。



モリのいる場所 Mori, The Artist's Habitat

開場▶12:00~/開演▶12:30~

2018 / 日本 / 99分
 監督：沖田修一
 キャスト：山崎 努 / 樹木希林 / 加瀬 亮
 ©2017「モリのいる場所」製作委員会
 ●第31回(2018)東京国際映画祭 Japan Now 部門上映作品

昭和49年の東京。30年間自宅のちっちゃな庭を採検し、草花や生き物たちを飽きもせず観察し、時に絵に描く画家モリ(94歳)と、その妻秀子(76歳)。52年の結婚生活同様、味わいを増した生活道具に囲まれて暮らす二人の日課は、ルール無視の暮。暮らし上手な夫婦の毎日は、呼んでもいないのになぜか人がひっきりなしにやってきて大忙し。そんな二人の生活にマンション建設の危機が忍び寄る。陽が差さなくなれば生き物たちは行き場を失う。慈しんできた大切な庭を守るため、モリと秀子が選択したこととは一。



(3年 立沙世子)



(3年 長谷川美咲)

精神疾患を患う人が、絵を描く行為によってその人の無意識の中の可能性を引き出した医師ニーゼの実話です。ピュアな感性の塊を持つ豊かな表現がいっぱい溢れ、社会の光の中でそれらが照らされていく様が美しく描かれています。私は映画を観終わった後、すべての人がそれ以上の豊かな人生を生き、世界が豊かな笑顔であふれることを願いました。主人公、ニーゼの生き方が今の世界に映っていて美しいところが魅力です。



ニーゼと光のアトリエ Nise-The Heart of Madness

開場▶15:20~/開演▶15:50~

2018 / 日本 / 109分
 監督・脚本：ホベルト・ペリネール
 キャスト：グロリア・ピレス / ファブリシオ・ポリヴェイラ / アウグスト・マテイラ / フェリペ・ホシャ
 ©TvZero
 ●第28回(2015)東京国際映画祭コンペティション部門上映
 東京グランプリ & 最優秀女優賞 W受賞作

1940年代、ブラジル。ひとりの女医が精神病院の門をたたき、彼女の名はニーゼ。そこでは毎日のようにショック療法などの暴力的な治療が行われていた。患者を人扱いしない光景を目の当たりにし、ニーゼは言葉の失う。男性医ばかりの院内で彼女が身を置けるのはナースが運営する作業療法部門だけだった。そこでニーゼは、患者を病院の支配から解放し、彼らに絵の具と筆を与えて心を自由に表現する場を与えようと試みる。

きみの鳥はうたえる And Your Bird Can Sing

開場▶12:00~/開演▶12:30~

2018 / 日本 / 106分
 監督：三宅 唱
 キャスト：柄本 佑 / 石橋 静河 / 染谷 将太
 ©HAKODATE CINEMA IRIS
 ●第31回(2018)東京国際映画祭 Japan Now 部門上映作品



地元函館で生きる3人の若者の関係がそれぞれの成長とともに変化していくことについていけない主人公の心の未熟さと成長を描く青春作品です。主人公は、居心地の良い曖昧とした今がずっと続くと思っていてそれを自分らしくと信じている…。そんな主人公が最後に変わっていく様が、過去の自分と重なり恥ずかしかったです。私は自分の力で動いて世界を見たたくて上京してきました。だからこそ思える！今「わたしの鳥はうたえる」と。大きい声で！

函館郊外の書店で働く「僕」は、失業中の静雄と小さなアパートで共同生活を送っていた。ある日、「僕」は同じ書店で働く佐知子とふとしたきっかけで関係をもつ。彼女は店長の島田とも抜き差しならない関係にあるようだが、その日から毎晩のようにアパートへ遊びに来るようになる。こうして、「僕」、佐知子、静雄の気ままな生活が始まった。夏の間、3人は、毎晩のように酒を飲み、クラブへ出かけ…。佐知子と恋人同士のようにふるまいつつ、お互いを束縛せず、静雄とふたりで出かけることを勧める「僕」。だが夏が終わるころ、3人の幸福な日々も終わりの気配を見せていた…。

40代半ばを迎え盛りをすぎた中年ボクサー、スティーブ。たまに声のかかる試合とバイトで家族をなんとか養っていたが、ピアノを習ってバリの学校に行きたいという娘の夢を叶えたい一心で、誰もが敬遠する欧州チャンピオンのスパーリングパートナーになることを決意する。ボロボロになりながらも何度でも立ち上がり、スパーリングパートナーをやり遂げたスティーブにチャンピオンからある提案が舞い込む。そしてスティーブは愛する家族、そして自身の引き際のために最後の勝負に出る。引退試合のリングで父として娘に伝えたかった思いとは一？

負け犬の美学 Sparring

開場▶15:25~/開演▶15:55~

2018 / フランス / 95分
 監督・脚本：サミュエル・ジュイ
 主演：マチュー・カソヴィッツ
 ©2017 UNITÉ DE PRODUCTION - EUROPACORP
 ●第30回(2017)東京国際映画祭コンペティション部門上映作品



まっとう、主人公がボクシングを始めたきっかけは、人よりもボクシングが好きで上手だったからだと思います。ただ、プロの世界では勝つことが才能と呼ばれてしまう…。負けっぱなしの主人公が愛する家族と娘の将来のために、最後の戦いに挑み伝えたかったこととはなにか。それが分かった時、私の血は騒ぎエネルギーが湧いてきました。貫き通した戦い方と家族の絆をみなさんもお楽しみ下さい。



(4年 内山百花)



(3年 長谷川美咲)

サヤマdeシネマvol.3に行こう!!!

9月21日(土)・22日(日)開催の「サヤマdeシネマvol.3」の上映に、各作品につき抽選で150組300名をご招待！**締め切り9月4日(水)**

●はがきに必要事項を記入の上、下記宛先までお送りください。

【必要事項】

- ①氏名(フルネーム)
- ②年齢
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤希望する作品名

9月4日(水)必着

※希望する作品ははがき一枚で4作品希望しても可。ただし各作品での抽選となりますのでご了承ください。

〒350-1336
 埼玉県狭山市柏原新田 311-1
 「西武文理大学サヤシネ実行委員会」宛

ハガキで応募

ネットで応募



下記 URL、もしくは QRコードからアクセスし、申込フォームに必要事項をご記入の上ご応募ください。

<http://cinema.sayama-de.jp/>

会場 狭山市市民会館 小ホール
 (〒350-1305 埼玉県狭山市入間川 2-33-1)

- 主催 西武文理大学サヤシネ実行委員会
- 共催 狭山市
- 後援 公益財団法人ユニジャパン(第32回東京国際映画祭)
- 協力 芥川製菓株式会社
 キッコーマンソイフーズ株式会社
 小岩井乳業株式会社 東京工場
 株式会社メモルス
 株式会社ロッテ 狭山工場 (五十音順)
 【高大連携協定校】
 日本文学学園文華女子高等学校 / 西武学園文理高等学校



本件に関するお問合せ

西武文理大学 TEL: 04-2954-7575 (代)

今年の合言葉は「映画を観よう。サヤマdeシネマ」です。映画を観たとき、私たちは登場人物が体験する胸の痛みや試練、奇跡的な結末と一緒に体験することができます。今回のチラシやポスターでは、そういった体験を通して、映画が私達の生活や人生にもたらしてくれる「しあわせ」や「彩り」を表現しました。サヤマdeシネマに来てくださる方のことを考えながら、言葉をひとつずつ選び、みんなで毎日話し合っって制作した今回の表紙絵は4パターンあります。想いを込めて作り上げたこれらのポスターやチラシがサヤマの街を彩り、上映する作品と皆さん、そして私達を繋いでくれることを願います。

Bunri University of Hospitality Sayama de Cinema 西武文理大学サヤシネ実行委員会